
キラキラ星

まめご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キラキラ星

【コード】

N50830

【作者名】

まめご

【あらすじ】

たった10センチ。

近づきたい、近づけない、臆病なあたしにとっては遠い距離

恋とピアノと名曲と。

絵理子は幼馴染の優介が好き。

でもなまじ近すぎて……。

片思いでもやもやんな話。 T I I N A M Iより転載作品。

ドドソソララソ

ドドミドフアドミド

「聞いたぞ。山内のこと、ふったんだって？」

「情報早いね。昨日コクられたよ」

「なーにが悪かったんだ。あいつは頭もいいし、スポーツできるし、顔もいい」

「性格が悪かった。有り難く思えぬ態度がみえみえで」

「マジでか」

あたしの横には幼馴染の優介がいる。二人でピアノ用の椅子に座って鍵盤をたたいている。

あたしは右手でメロディーを。

優介は左手で伴奏を。

作曲家知らずのキラキラ星。幼稚園の頃、ピアノの発表会でひいた曲。

その時から優介との距離は変わっていない。

たった10センチの短い距離。

ああ、神さま。あたしは本当に憶病者です。

同じ所をグルグルしているまま、高校生になってしまいました。

白い鍵盤を叩いている手に触れられたいと願っているのに。

ソソ ファファミミレ

ミソレソドソミン

ソソ ファファミミレ

ミソレソドソミン

「な、絵理子。お前、好きなやつがいるんだろう」
びくんと心臓がはねた。

ええ、いますとも。あんただよ、あんた。

「なんで知ってるのよ」

「見ていりゃわかるよ」

もう、神さま。こいつは敏感なくせに超鈍感です。

それとももしかして全て知った上でカマかけているのか？

「もし、お前がこっぴどく振られて失恋しても、おれが胸を貸してやるよ」

思わずため息が出た。

そうだった、そんな複雑な思考回路を持つやつじゃなかった。

無邪気ってなんて残酷。

あんたに振られても、あんたの胸で泣かせてくれるの？

嫌だよ、振られた相手に同情されるなんて、屈辱以外の何物でもない。

結局あたしは、また一人でグルグルするしかない。

「…………馬鹿」

なんて言ったらいいかわからなくて口をとがらせると、優介はふふと笑った。

「なんとも」

ドドソソララソ

ドドミドフアドミド

あたしの横には優介がいる。

その距離、たった10センチ。

友達には近すぎる、恋人には遠すぎる微妙な距離。

ファファミミレレド

レシドラファンド

たった10センチ。

近づきたい、近づけない、臆病なあたしにとっては遠い距離。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5083o/>

キラキラ星

2011年6月18日12時34分発行